

ミズノ株式会社  
第102期（2015年3月期）  
第2四半期 決算説明資料



2014.11.13

- ・この説明資料には、2014年11月13日現在での将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれています。
- ・世界経済・競合状況・為替の変動等に関わるリスクや不確定要因により実際の業績が記載の予測と大幅に異なる可能性があります。

対前期

**売上** **900億円** **17億円増 (1.9%増)**

- ▶ ランニングシューズをはじめとするライフスタイルスポーツ品や競技スポーツ分野の販売堅調。
- ▶ ゴルフ品や野球品の中高価格帯品は苦戦。
- ▶ 日本と米州が減収となる一方、欧州とアジア・オセアニアは2桁増収。

**営業利益** **27億円** **1億円増 (3.9%増)**

- ▶ 売上総利益率は、円安による輸入コスト増というマイナス要因はあったが、商品開発や生産プロセスの改善に努めたこともあり、前年同期比0.9ポイント改善。
- ▶ 広告宣伝費等の経費増はあったが増益。

**経常利益** **28億円** **5億円増 (24.1%増)**

- ▶ 営業増益に加え、前期の為替差損が当期は差益に転じたことによる。

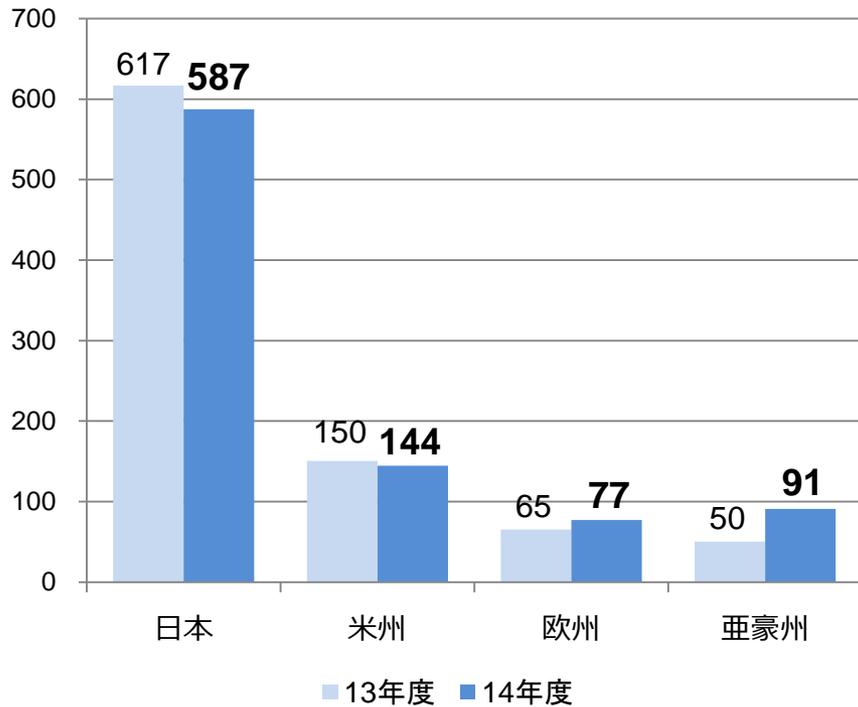
**純利益** **17億円** **4億円増 (31.4%増)**

単位：億円	2014年3月期 第2四半期	2015年3月期 第2四半期	前期比(%)
売上高	883	<b>900</b>	+1.9%
売上総利益	351	<b>365</b>	+4.2%
売上総利益率	39.7%	<b>40.6%</b>	+0.9P
販売管理費	325	<b>339</b>	+4.2%
販管費率	36.8%	<b>37.7%</b>	+0.9P
給与手当・賞与	109	<b>114</b>	+5.2%
広告宣伝費	58	<b>65</b>	+12.2%
営業利益	26	<b>27</b>	+3.9%
営業利益率	2.9%	<b>3.0%</b>	+0.1P
経常利益	22	<b>28</b>	+24.1%
経常利益率	2.5%	<b>3.1%</b>	+0.6P
当期純利益	13	<b>17</b>	+31.4%
為替レート 円/1USD	94.55	<b>102.66</b>	
円/1GBP	151.28	<b>172.90</b>	
円/1EUR	128.75	<b>139.01</b>	

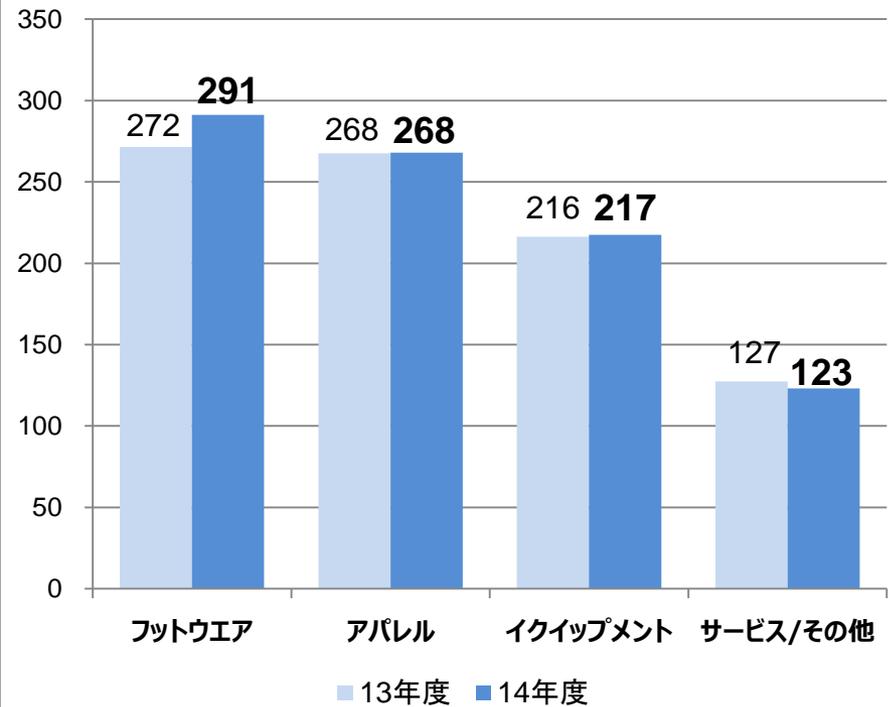
単位：億円	2014年3月期 第2四半期末	2015年3月期 第2四半期末	前期比増減
資産合計	1,532	<b>1,601</b>	+68
現金及び預金	165	<b>176</b>	+11
受取手形及び売掛金	377	<b>404</b>	+27
在庫	310	<b>334</b>	+24
有形・無形固定資産	468	<b>476</b>	+8
投資有価証券	104	<b>96</b>	-8
繰延税金資産(流動・固定計)	27	<b>41</b>	+14
負債合計	672	<b>733</b>	+61
短期有利子負債	114	<b>146</b>	+32
長期有利子負債	177	<b>165</b>	-12
純資産合計	860	<b>867</b>	+7

■ 2014年度 第2四半期のリージョン別・プロダクト売上高は下表のとおり。（単位：億円）

リージョン別 売上高



プロダクト別 売上高



	2014年3月期 第2四半期	2015年3月期 第2四半期	前期比増減
総資本事業利益率(ROA)	1.9%	<b>1.9%</b>	± 0.0P
自己資本利益率(ROE)	1.6%	<b>2.0%</b>	+ 0.4P
自己資本比率	56.0%	<b>54.1%</b>	- 1.9P
一株当り利益(EPS)	¥10.60	<b>¥13.85</b>	+ ¥3.25
一株当り純資産(BPS)	¥683.66	<b>¥687.67</b>	+ ¥4.01
株価純資産倍率(PBR)(倍)	0.86	<b>0.84</b>	- 0.02
基準株価(各年度9月末日)	¥588	<b>¥581</b>	- ¥7
配当性向	47.2%	<b>36.1%</b>	- 11.1P

2014年度年間見通しを下記の通り修正します。

(単位：億円)	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
14年5月開示	1,950	80	80	50
今回修正	1,860	59	60	34
増減額	-90	-21	-20	-16

## <修正の理由>

- 日本における中高価格帯の商品を中心としたスポーツ品販売の伸び悩み
- 円安による輸入仕入コストの上昇
- グローバルゴルフ品市場での価格競争激化の影響による売上減
- 昨年度まで継続的に伸張してきた米州のランニングシューズビジネスの停滞

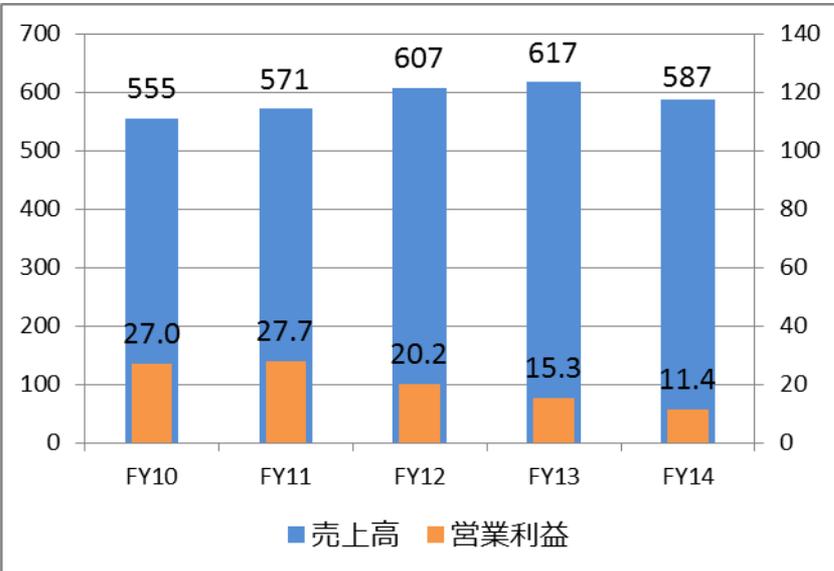
## Product別 売上高

（単位：億円）

	Total	Footwear	Apparel	Equipment	Service/Others
FY14	587	121	218	124	123
FY13	617	125	227	130	135
FY14/FY13	95%	97%	96%	96%	91%

## 売上高・営業利益 推移

（単位：億円）



### ■ 14年度 状況

- 増税反動からの回復の遅れや天候不順による売上の減少
- 円安による仕入コストの上昇

### ■ 今後の施策・展望

- パーソナル・健康関連の商品強化と新規チャネル開拓による売上確保
- 施設サービス事業およびセノー株式会社との協働でのビジネス展開を拡大
- 生産プロセス改善による粗利益向上
- 経費効率の見直し

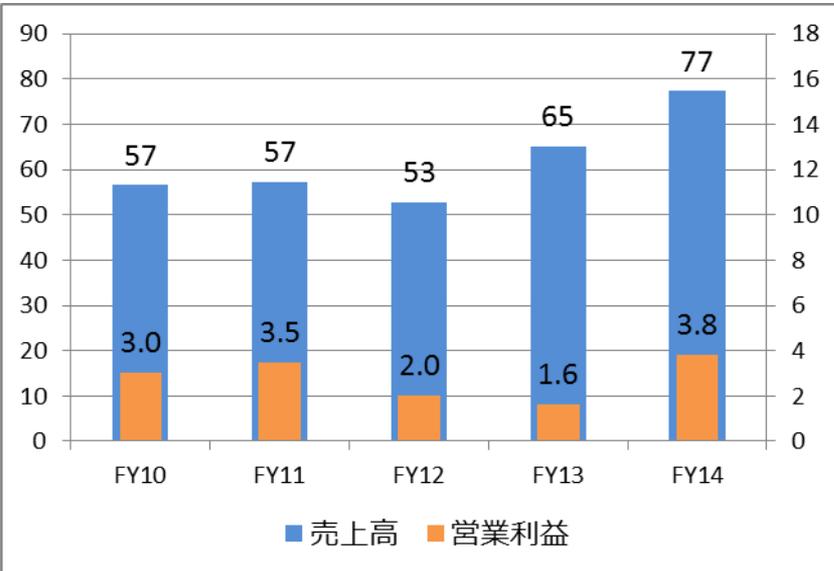
## Product別 売上高

（単位：億円）

	Total	Footwear	Apparel	Equipment
FY14	77	57	7	13
FY13	65	46	6	14
FY14/FY13	119%	125%	132%	96%

## 売上高・営業利益 推移

（単位：億円）



### ■ 14年度 状況

- 欧州の市況は引き続き厳しい
- ゴルフ市場低迷による販売不振
- ランニング・インドアスポーツのシューズ好調

### ■ 今後の施策・展望

- ゴルフ以外の商品企画・マーケティング機能を英国から独ミュンヘンに移動
- 北欧に現地法人を設立。15年4月からの営業を予定

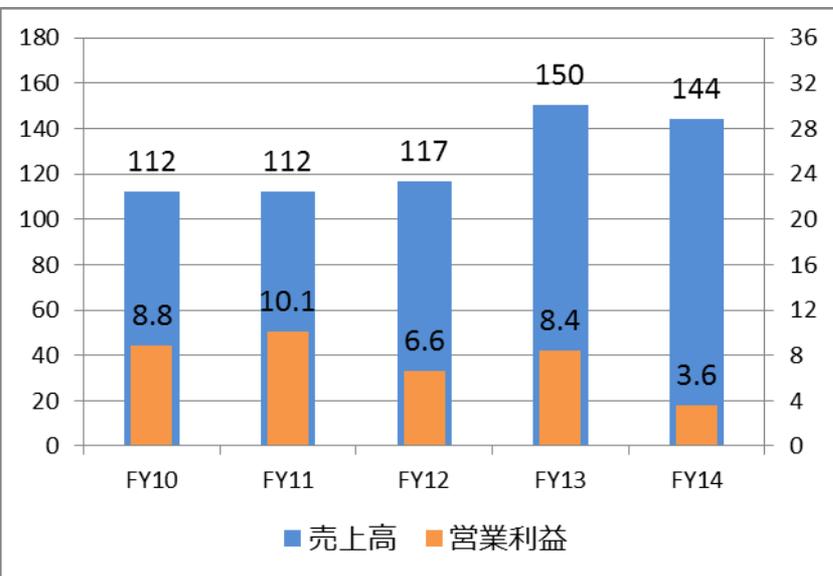
## Product別 売上高

（単位：億円）

	Total	Footwear	Apparel	Equipment
FY14	144	76	16	53
FY13	150	80	15	57
FY14/FY13	96%	95%	105%	93%

## 売上高・営業利益 推移

（単位：億円）



### ■ 14年度 状況

- ランニングシューズの売上不振
- ゴルフ市場の流通在庫過多
- バレーボール関連商品の売上は順調

### ■ 今後の施策・展望

- 新製品の早期投入による需要喚起
- ブランド価値向上のためのキャンペーンを継続
- 米国発信のランニングシューズ企画を充実

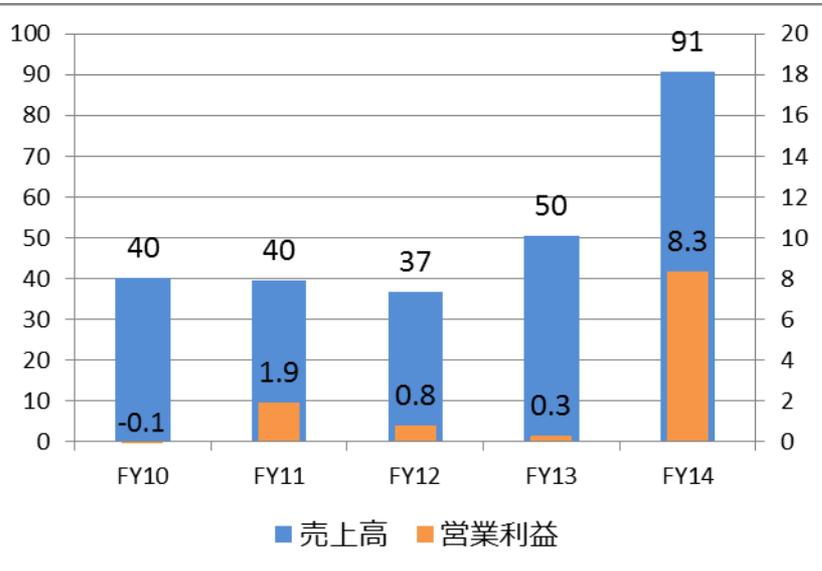
## Product別 売上高

（単位：億円）

	Total	Footwear	Apparel	Equipment
FY14	91	37	26	28
FY13	50	21	20	8
FY14/FY13	180%	180%	132%	326%

## 売上高・営業利益 推移

（単位：億円）



### ■ 14年度 状況

- 日本からシンガポールに東南アジア向けの輸出機能を移管
- 中国のリストラ効果により利益率が大幅改善
- 台湾・オーストラリアの引き続き業績順調

### ■ 今後の施策・展望

- 台湾にランニングショップをオープン（10月）
- フットウェア・アパレルを中心にアジア向け企画のラインナップを充実させる。
- 新拠点（韓国・シンガポール）の成長加速

■ 事業スローガン 「 Move Forward! 」

2014年度 年度方針

Ichiban

Isshin

Ichigan



明日は、きっと、できる。